

# 教育相談部だより 第11号



## 自立活動について

特別支援学校や特別支援学級、通級指導教室では、「自立活動」の指導が行われます。これは、障害による様々な困難さを、得意なことを生かしながら克服したり、子供たちが生活や学習がしやすくなったりすることを目的としています。そのため、特別支援教育においてとても重要な学習です。

今回は、「自立活動」について紹介します。



Q1. 自立活動は、教科ですか？

A1. 自立活動は、特別支援学校の土台、中核となる指導であり、通常の教育では実施することのない領域であることから「特別の指導」とよばれています。

「小学校と特別支援学校小学部の各教科等のイメージ」

小学校	各教科	道徳科	外国語活動	総合的な学習の時間	特別活動
特別支援学校小学部	各教科	道徳科	外国語活動	総合的な学習の時間	特別活動
					自立活動

Q2. 自立活動は、なぜ必要ですか？

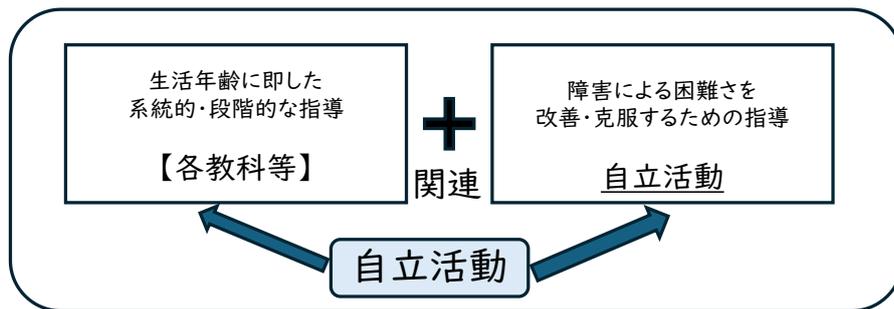
A2. 障害のある児童生徒は、その障害ゆえに日常生活や

学習場面において様々なつまづきが生じることから、小、中学校等の児童生徒と同じように心身の発達段階等を考慮して教育するだけでは十分とは言えません。

👉 自立活動では、各教科や道徳等の学習が十分できる状態を作る「基盤となる力」を育てる学習を一人一人の困難さに合わせてオーダーメイドの学習をしています。

「知的障害特別支援学校の自立活動の指導」  
ジアース教育新社より抜粋

「自立活動の位置付け(知的障害特別支援学校 小学部の場合)」イメージ図



各教科等と自立活動の両方を関連して学習を行うことで調和のとれた育成を目指しています。

「知的障害特別支援学校の自立活動の指導」  
島根県教育センター資料参考

Q3. 自立活動は、どのような学習をしていますか？

A2. 自立活動は、「人間として基本的な行動を遂行するために必要な要素」と「障害による学習上または生活上の困難を改善・克服するために必要な要素」で構成され、6つの区分と27項目に整理されています。

## 👉 自立活動6つの区分

「健康の保持」「心理的な安定」「人間関係の形成」「環境の把握」「身体の動き」  
「コミュニケーション」

これらは、全てを行うものではなく、児童生徒一人一人の状態に合わせて必要な要素を選び出し、学習します。

### 〈本校での自立活動の紹介〉

- ・6つの区分の「環境の把握」「身体の動き」から、学習目標・内容を設定しています。
- ・学習のねらいは、スリッパが置かれている場所を基準に、「右手を前にあるオレンジの丸の上に置く」「左足を後ろにある緑の丸の上に置く」等、指示を聞いて、身体を動かします。この時、「上下」「左右」「前後」と言った位置関係を認知する学習、指示(話)をよく聞く学習、色や形を認知する学習、自分の思う方向に身体を動かすなどの学習につながります。一つの課題で、複数の学習をしています。

#### 〈教材〉



#### 〈学習のイメージ図〉



ご家庭で一緒に取り組んで  
みられてもよいかもしれま  
せんね



- 👉 自立活動で学んだことを、他の学習場面や日常生活の中で生かすことがとても重要です！  
ご家庭でも日頃ちょっとした場面で、例えば欲しいものがあるときなど「テレビの右側にあるよ」等、子供の課題に沿った言葉掛けをすることで学校での学習が定着やすくなります。

#### 〈参考文献〉

「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編」 文部科学省  
「特別支援教育 自立活動 はじめの一步」 埼玉県教育委員会  
「自立活動ってなんだろう？」 島根県教育センター  
「特別支援学級の担任になったら 自立活動」 元明星大学教育学部教授 廣瀬 由美子  
「自立活動の理念と実際」 ジアース教育新社  
「特別支援学校の自立活動の指導」 ジアース教育新社

#### 〈教育相談のご案内〉

随時教育相談を受付けています。

相談方法：訪問・来校・電話で相談できます。

相談時間：9：00～17：00

※ 本校に在籍する保護者の方は、担任を通してお知らせ下さい。

※ 他校に在籍する保護者及び教職員の方は、管理職の先生から、教育相談部教頭にお電話下さい。

相談日については、日程や時間帯を調整させていただきます。

TEL：0765-54-1288 教育相談部担当教頭：中林（なかばやし）



詳細はホームページまたは  
QRコードをご覧ください。

